

## (2) 旭川市栄養調査（※関係部分抜粋）

### 1 調査の目的

第2次旭川市食育推進計画は平成24年度から平成28年度までの5カ年計画となっているが、その評価及び次期計画策定における基礎資料を得るとともに、効果的な食育推進施策を推進するため、栄養調査を実施した。

### 2 調査対象、方法

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| (1) 調査対象地域 | 旭川市全域                          |
| (2) 調査対象者  | 旭川市民のうち20歳以上の男女3,000人          |
| (3) 抽出方法   | 無作為抽出                          |
| (4) 調査方法   | 簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用い、郵送による調査 |
| (5) 調査期間   | 平成27年11月1日（日）～11月30日（月）        |

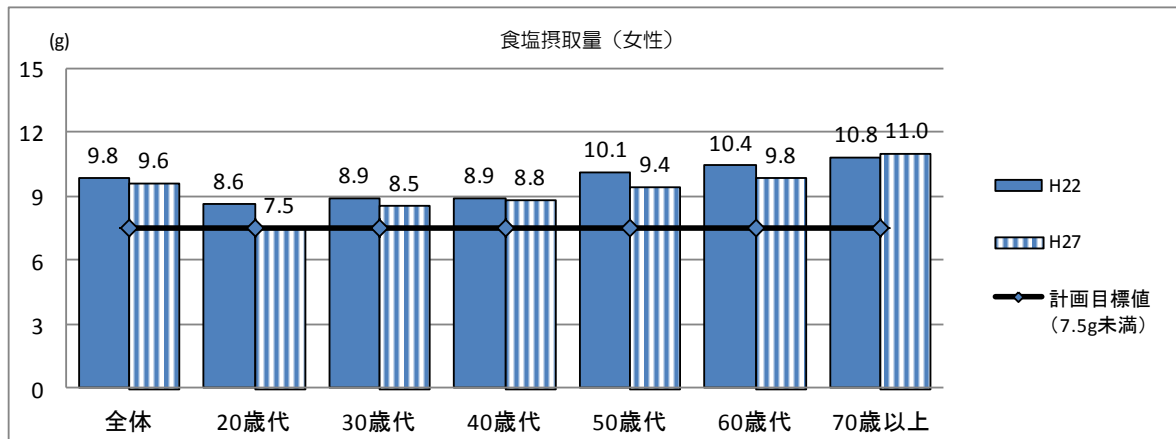
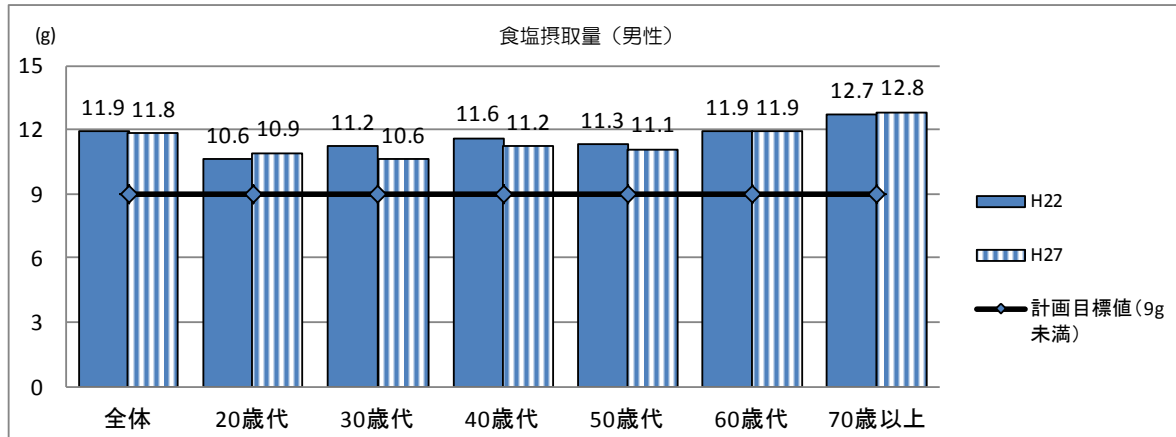
※ BDHQ 方式・・・質問票に最近1か月間の食習慣を記入し、専用の栄養価計算プログラムにより、およそ30種類の栄養素とおよそ50種類の食品の摂取量を算出できる。

### 3 回収結果

- |           |        |
|-----------|--------|
| (1) 発送数   | 3,000人 |
| (2) 回収数   | 1,161人 |
| (3) 有効回答数 | 1,133人 |
| (4) 有効回答率 | 37.8%  |

## ■ 食塩摂取量

食塩摂取量の平均値は、男性11.8g、女性9.6gであり、年齢階級別にみると、男女ともに70歳以上が最も高く、平成22年と比べて高くなっている。

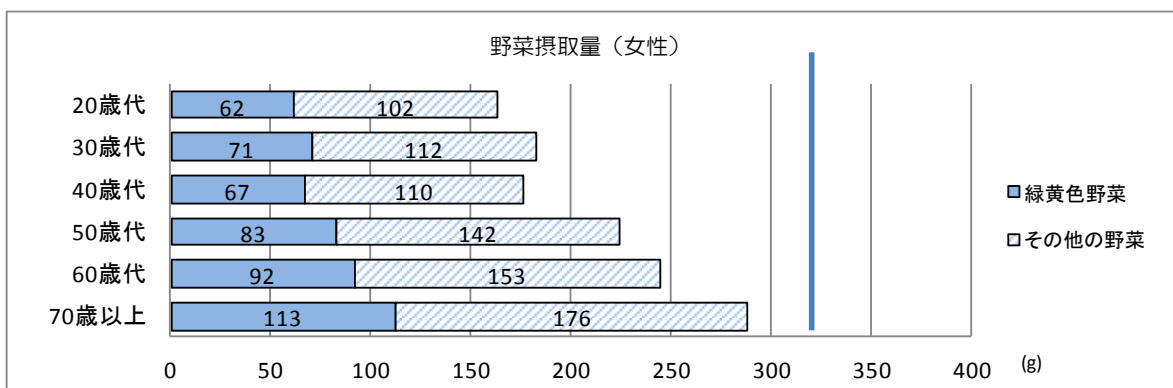
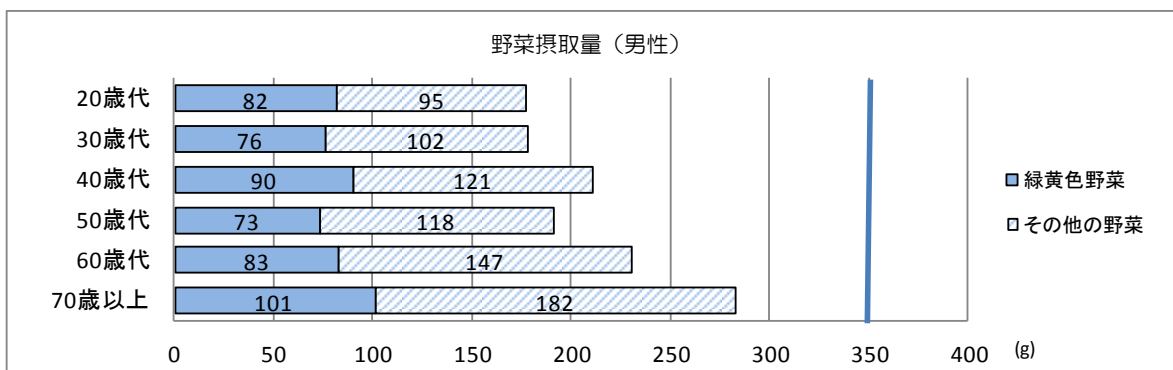
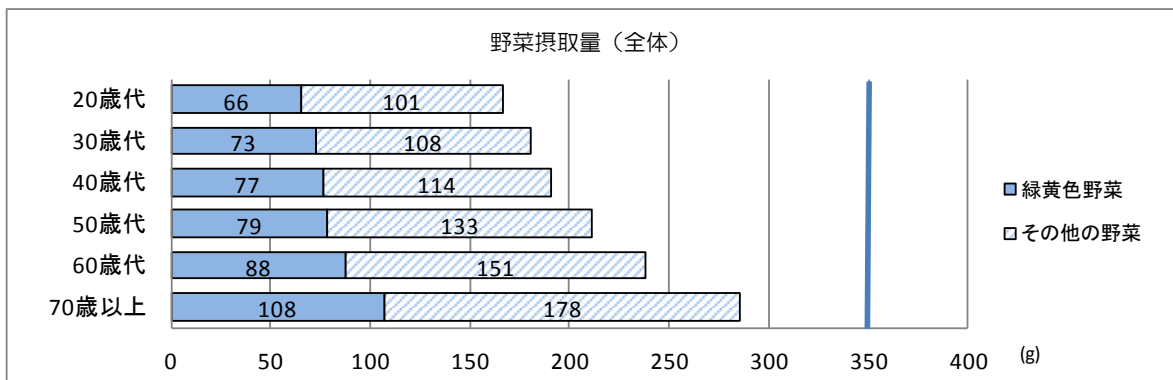
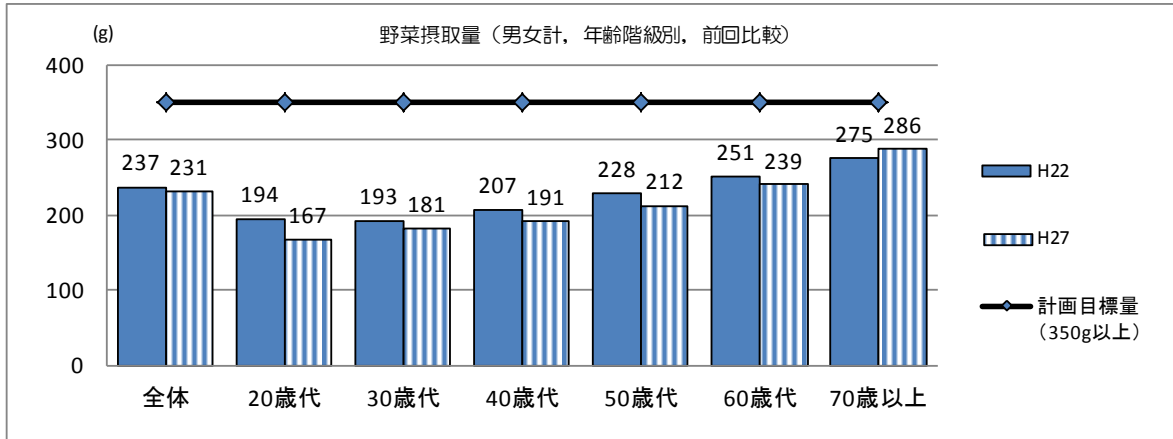


## ■ 野菜摂取量の状況

野菜摂取量は年齢が高くなるほど増加している。

平成22年と比べると70歳代以上が増加しており、その他の年代は減少している。

20歳代の野菜摂取量は平均167gであり、他の年代と比べて最も低く、野菜の目標量350gの5割程度となっている。



■ 果物摂取量100g未満の割合

H22

	人数	割合
男性(n=1,103)	774人	51.3%
女性(n=1,509)	643人	58.3%
総数(n=2,612)	1,417人	54.2%

H27

	人数	割合
男性(n=435)	241人	55.4%
女性(n=698)	371人	53.2%
総数(n=1,133)	612人	54.0%

